

大阪府立都島第二工業高等学校・大阪府立都島工業高等学校 定時制の課程

令和5年度学校教育自己診断アンケート分析

生徒回収率：	都島第二工業 66% (21 件)	都島工業 (定) 86% (18 件)
保護者回収率：	都島第二工業 35% (10 件)	都島工業 (定) 52% (11 件)

【学習指導】

○「この学校には、他の学校にない特色がある」「教え方に工夫をしている先生が多い」「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」の生徒の質問項目の肯定率は 92%である。また、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」「安全で安心な学校生活を送れている」の質問項目でも肯定率は 93%であり、落ち着いた学習環境であると考えられる。

○「将来の進路や生き方について考える機会がある」の項目の生徒の肯定率は 87%、「文化祭は、楽しく行えるよう工夫されている」は同様に 82%、「お互いの違いを認め合い学校生活をおくっている」は 90%と充実した学校生活を送れていると想定できる。また、教員の質問項目「学校行事が生徒にとって魅力のあるものとなるよう、工夫、改善を行っている」の肯定的な回答は 88%である。

○「ビデオ・スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある」の項目の生徒の肯定率は 95%、「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している」は 97%であり、授業の ICT 化が昨年度より進んでいるが、より効果的に活用できるよう工夫していく。

○「いじめについての対応」「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の質問項目について生徒 92%、保護者 93%である。また、「担任以外の先生に気軽に相談できる」の生徒の質問項目では 82%であり、更なる教育相談等の体制や SSW・SC 等との連携を行い、生徒への積極的な声掛けなどを学校全体で取り組んでいく。

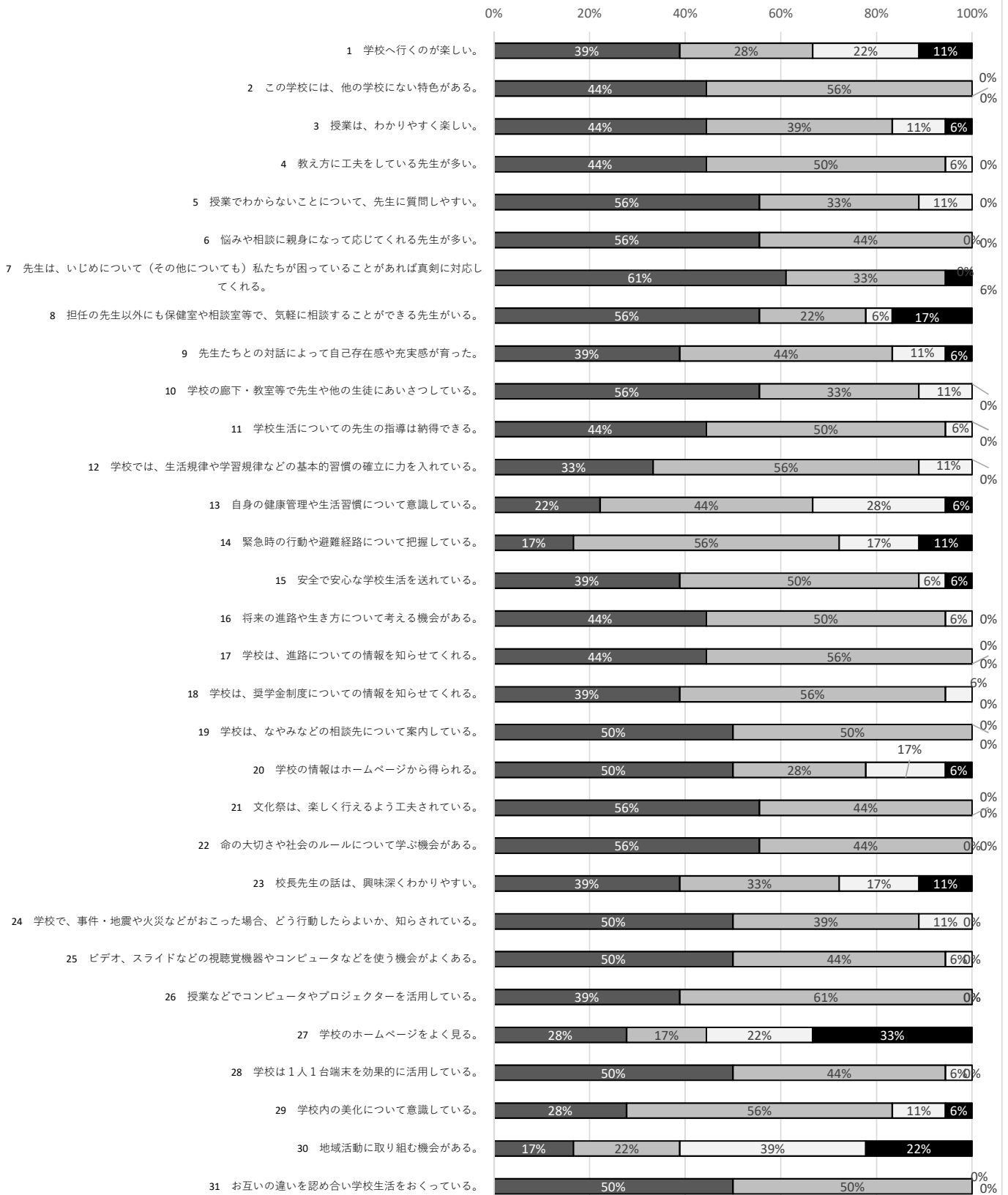
【学校経営】

○教員の「情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている」「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている」の質問項目の肯定率が高い反面、生徒・保護者ともに「学校のホームページをよく見る」の肯定率が低い。学校からの情報提供を周知するためにも学校ホームページだけでなく、SNS での情報発信を今後考慮していく。

○「学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている」の質問項目の肯定率は 94%であるが、「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」の項目の肯定率は 27%である。保護者の方が参加しやすい日程、行事内容等を工夫する。

令和5年度 学校教育自己診断【生徒】：都島工業（定時制の課程）

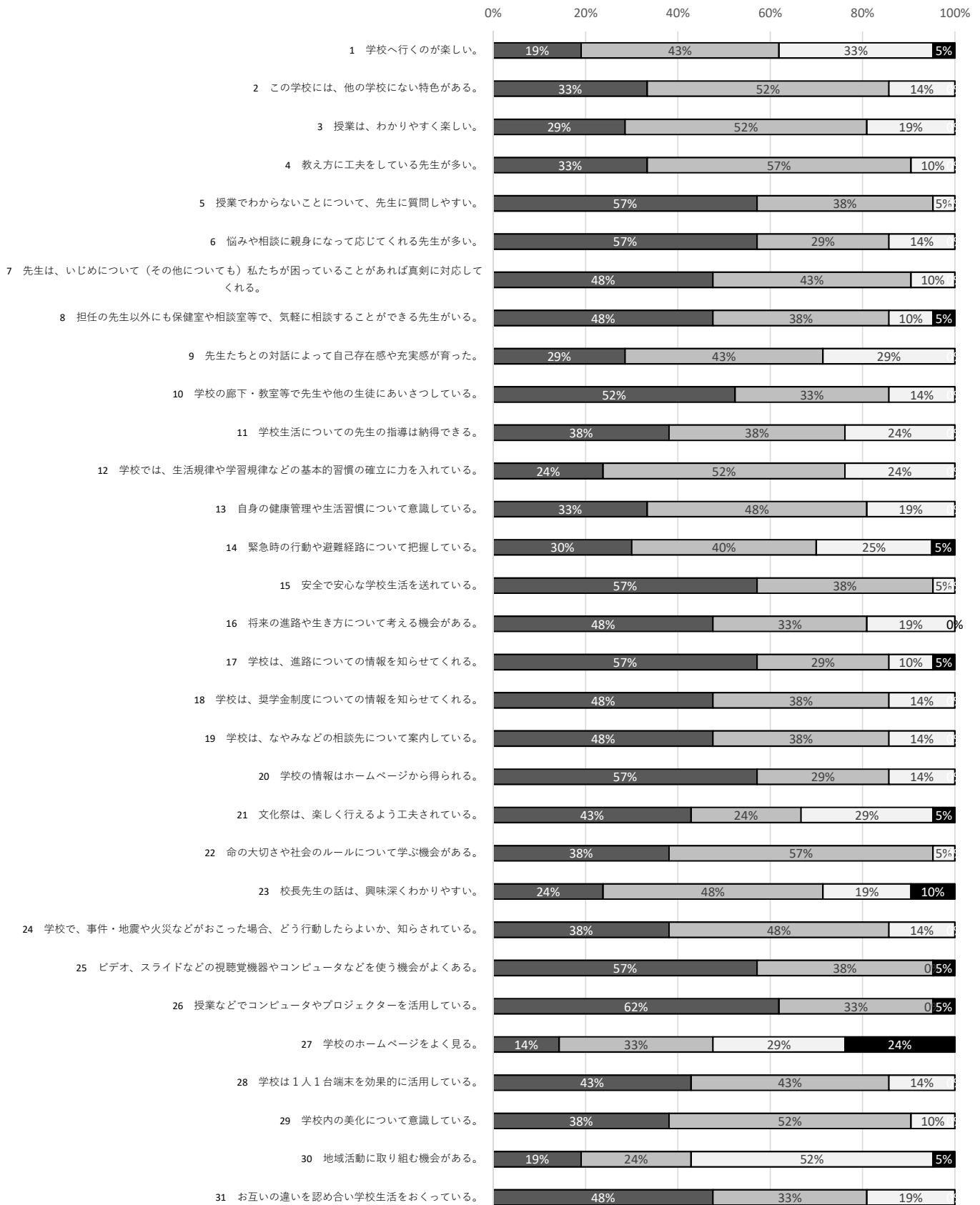
21名中18名回答 回答率85.7%



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

令和5年度 学校教育自己診断【生徒】：都島第二工業

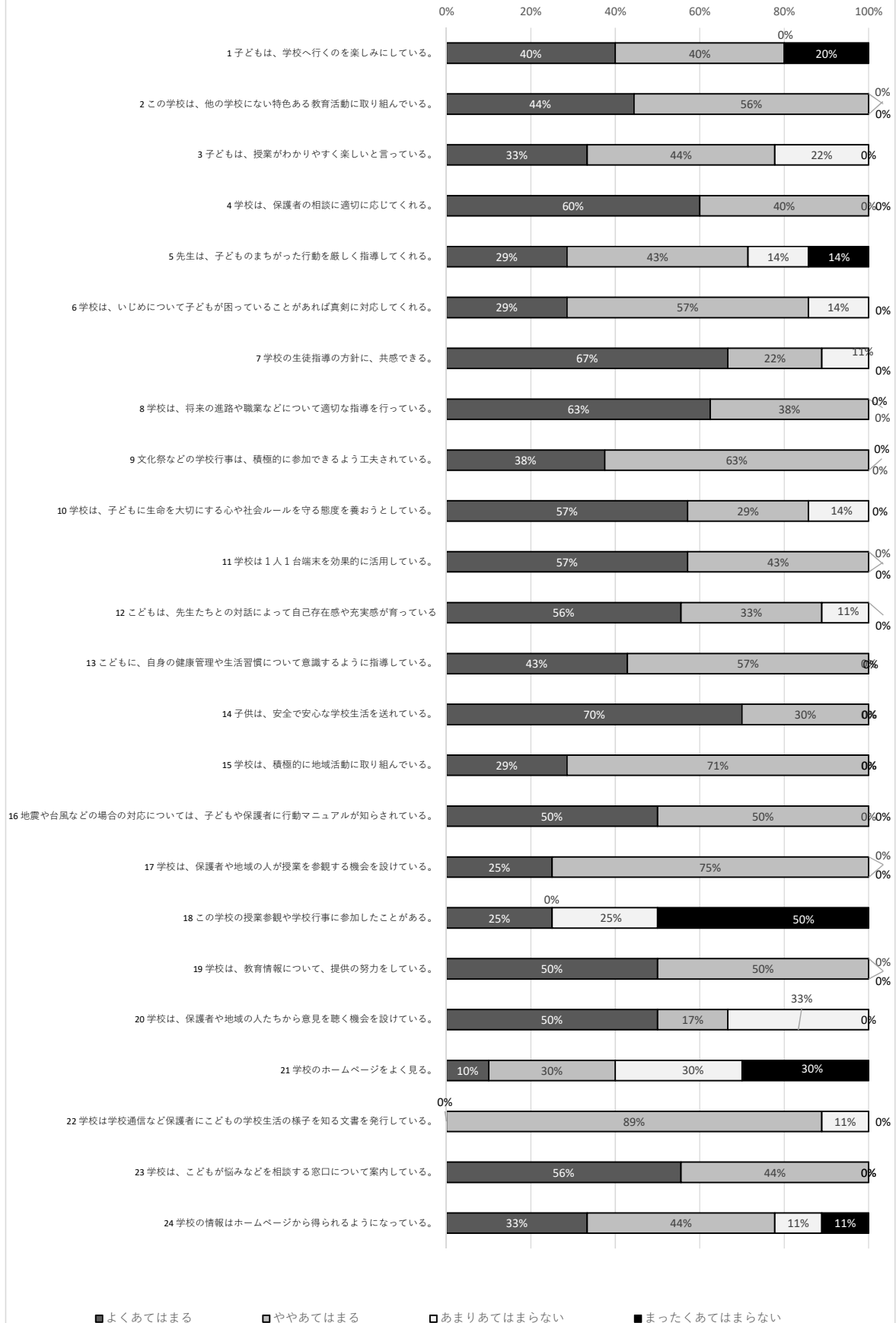
32名中21名回答 回答率65.6%



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

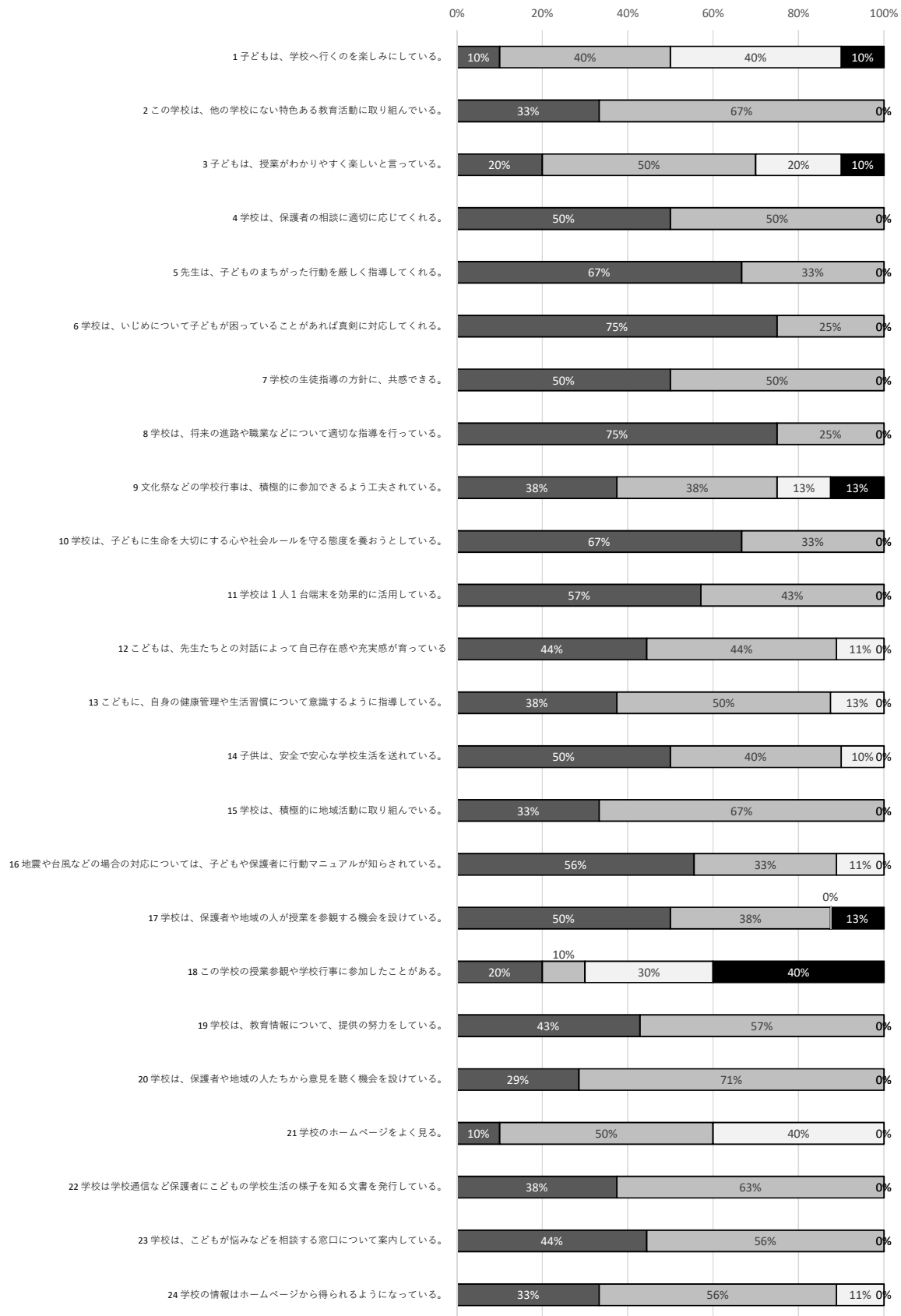
令和5年度 学校教育自己診断【保護者】：都島工業（定時制の課程）

21名中11名回答 回答率52.4%



令和5年度 学校教育自己診断【保護者】：都島第二工業

29名中10名回答 回答率34.5%



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない